

NEWS RELEASE

報道関係各位 2025 年 3 月 7 日

【新バージョン】統合ネットワーク管理ソフトウェア 「AT-Vista Manager EX Ver. 3.13.1」を公開

-RADIUS サーバー用新ライセンスが登場!連携・カスタマイズ強化で管理の柔軟性と効率化を向上!-

アライドテレシス株式会社(本社 東京都品川区、代表取締役社長 サチエ オオシマ)は、統合ネットワーク管理ソフトウェア「AT-Vista Manager EX」および、「AT-VST-VRT」「VST-APL シリーズ」の新バージョンをリリースし、当社ウェブサイトから当該ファームウェアのダウンロードサービスを開始したことをお知らせします。



今回のバージョンアップでは、主にネットワークの自律的な統合管理を可能とするソリューション「AMF PLUS」との併用による機能強化を実施しています。IT インフラの安定稼働の向上を実現する資産管理プラットフォームとの新たな連携などに加え、GUI の強化としてカスタマイズの自由度を向上する実装が行われました。

■煩雑になりがちな端末など、ネットワーク周りの管理をより直感的に

<モバイルデバイスのバージョンやセキュリティ対策状況などの一元的な可視化に対応>

資産管理のプラットフォームである「Microsoft Intune」が AMF PLUS と連携できるようになりました。AMF PLUS は、Microsoft Intune から収集した情報を、端末の OS、パッチバージョンや各種セキュリティイベントと併せて、Vista Manager シリーズ上の資産管理機能の DAM(Dynamic Asset Management:デバイス検知)へ適用し、資産情報として一元的に可視化します。

また今回のバージョンアップでは、OT環境のセキュリティに特化し脅威を検出する Nozomi Guardian から AMF PLUS が収集した情報との連携も強化します。資産管理機能の IES(Intelligent Edge Security: セキュリティ管理)に、Nozomi Guardian による OT 機器の接続可否といった機器のネットワークへの接続適正が反映され、認証状態の確認やアクセスポリシーの一元的な管理が可能となります。

今回の Microsoft Intune への新たな連携に加え、Nozomi Guardian 連携での機能強化により、既に連携しているエンドポイントデバイスをエージェントレスで検出する Forescout eye Extend を含む複数のプラットフォームに対応した Vista Manager シリーズが一層強化されました。これにより、IT・OT 環境、モバイルデバイスを含むすべてのエンドポイントを包括的に管理し、企業のネットワーク管理を高度化しながらセキュリティを強化します。

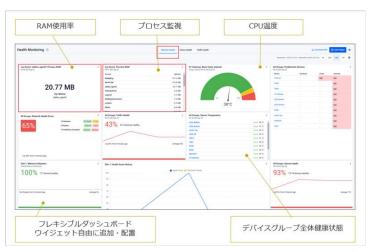
<サーバー稼働の状況がより詳細に把握可能に>

Zabbix エージェントと AMF PLUS との連携で、 サーバーのプロセスモニタリングを Vista

Manager シリーズの HMD (Healthcare

Monitoring Dashboard: 状態監視) 上で確認でき るアドバンスドサーバーモニタリングをサポート します。

GUI を活用した直感的な操作で、ネットワーク上 で稼働している特定のプロセスの CPU やメモリ 使用状況など、サーバー稼働状況の詳細を簡単に 監視できます。リアルタイムでのリソース使用状 況の監視により、パフォーマンス低下や異常を早 期に発見、システムの安定性と運用効率を向上さ せます。



※こちらは AT-Vista Manager EX 上で表示される HMD 画面の一部です。本画面には開発時点での情報が含まれているため、実際の製品で の表示内容とは異なる場合があります。

<カスタマイズできるダッシュボードで、欲しい情報をひと目で把握>

今回、Vista Manager シリーズのダッシュボード機能がさらに使いやすくなりました。ユーザーは、CPU やメ モリの使用状況、ネットワークトラフィックなど、特に重要視したい項目を自由にダッシュボードに並べること ができます。AMF PLUS で集めたデータから必要な情報を任意で選択し、グラフやチャートで直感的に表示す ることが可能です。

例えば、ネットワークの利用環境や状況が変わったときでも、応じてダッシュボードのレイアウトを変えたり、 選択する情報を変更したりすることができます。状況に応じた柔軟な監視体制と効率的な IT インフラ管理を実 現します。

<対象製品:対象ファームウェア>

AT-Vista Manager EX ファームウェア: Ver.3.13.1、AT-VST-VRT ファームウェア: Ver.3.11.1、VST-APL シリーズパッケ ージバージョン: Ver.3.11.1

■信頼性と柔軟性を兼ね備えた新しい RADIUS サーバー機能を実装!

今回、AT-VST-VRT および VST-APL シリーズの Ver 3.11.1 のリリースに合わせ、RADIUS サーバー機能を実 現するライセンスの販売を開始します。

この機能は、RADIUS サーバー単体として利用することができ、ユーザー認証、MAC 認証、デバイス認証な ど、さまざまな認証方式をサポートしています。Web GUI による直感的な設定で、簡単に運用が可能です。ラ イセンスは認証規模に応じたアニュアルライセンスとして提供され、必要に応じて拡張できます。最大 200,000 エントリーの登録が可能で、小規模から大規模な環境にも対応します。

また、Vista Manager シリーズとの併用が可能で、AMF PLUS と連携することにより、収集した認証情報を資 産管理機能の IES(Intelligent Edge Security:セキュリティ管理)に反映させることができます。これによ り、複数の認証方法を組み合わせてセキュリティを強化し、エッジデバイスの管理を一元化し、柔軟なセキュリ ティポリシーを効率よく適用できます。

出荷開始日:2025年3月7日(金)

製品名	ライセンス詳細	標準価格(税込価格)
AT-RADIUS-1K-Lic-1Y-2024	AT-RADgate 基本ライセンス (1,000 エントリー)1 年	500,000 円(550,000 円)
AT-RADIUS-1KADD-Lic-1Y-2024	AT-RADgate 追加ライセンス (1,000 エントリー)1 年	350,000 円(385,000 円)

- ●利用されるエントリー数に応じて追加ライセンスをご購入ください。他にも5年、7年のライセンス及びそれぞれ更新用のライセンスをご用
- 意しています。詳しくはこちらよりご確認ください。https://www.allied-telesis.co.jp/p-material/datasheet/vistamanager_ex-d.pdf ●AT-RADgateの製品仕様についてはこちらよりご確認ください。https://www.allied-telesis.co.jp/p-material/datasheet/vistamanager_exd.pdf

<対象製品:対象ファームウェア>

AT-VST-VRT ファームウェア: Ver.3.11.1、VST-APL シリーズパッケージバージョン: Ver.3.11.1

今回のファームウェアバージョンアップでは、新機能の追加に加え、既存機能の利便性向上を図るための強化も 行われました。

■要求スペックを引き下げ、低コストで柔軟な無線環境最適化を支援

AWC-DCN (AWC-Dynamic Client Navigation) 機能の利用に必要なスペックが、Intel Core i5 プロセッサー にまで引き下げられ、無線 LAN アクセスポイントの管理が 600 台から可能となりました。これにより、これま でよりも規模の柔軟なネットワーク環境でも、無線環境の最適化が低コストで実現できるようになり、導入の選 択肢が広がりました。

AWC-DCN は、無線 LAN AP と無線クライアントの接続を調整し、無線環境を改善する機能です。

- ロードバランシング:無線 LAN AP 間で接続するクライアント数を均等に分散
- スティッキー端末の解消:接続性の悪いクライアントを、最適な他の無線 LAN AP に移動
- DCN バンドステアリング:無線クライアントの移動際に最適な周波数帯(2.4GHz・5GHz)へ自動で切り替え

<対象製品:対象ファームウェア>

AT-Vista Manager EX ファームウェア: Ver.3.13.1 対象製品: AT-TQ6702 GEN2、AT-TQ6602 GEN2

■高速な無線 LAN 環境でローミングレスに移動端末の利用が可能に

当社独自技術のシングルチャンネル方式無線 LAN ソリューション「AWC-CB(AWC-Channel Blanket)」に対応 する Wi-Fi 6 対応 AP「AT-TQ6403 GEN2」を、AT-Vista Manager EX で活用可能となります。接続端末の位 置や移動軌跡をマップ上に表示できるようになり、工場機器や医療機器の紛失防止に加え、より快適な無線 LAN 環境の設計をサポートします。

また、「AT-VST-VRT」「VST-APL シリーズ」では「AT-TQ6403 GEN2」に加え Wi-Fi 6E 対応無線 LAN アクセスポイント「AT-TQ7403」や、Wi-Fi 6 対応屋外モデル「AT-TQ6702e GEN2」が「AWC-CB」に対応し ます。

<対象製品:対象ファームウェア>

AT-Vista Manager EX ファームウェア: Ver.3.13.1、AT-VST-VRT ファームウェア: Ver.3.11.1、VST-APL シリーズパッケ ージバージョン: Ver.3.11.1

■認証ページのローカライズで、公共 Wi-Fi 利用者の利便性を向上

今回のアップデートにより、キャプティブポータルのクリックスルー機能で表示される利用規約ページが、日本 語に対応しました。

これにより、特にホテルやカフェなどの公共 Wi-Fi 環境で、ユーザー認証時の利便性が向上します。利用者にと って直感的な操作が可能となり、よりスムーズな接続体験が提供されます。また、管理者側でも日本語表示が可 能になることで、認証プロセスの運用選択肢が広がり、運用面での利便性も向上します。

<対象製品:対象ファームウェア>

AT-Vista Manager EX ファームウェア: Ver.3.13.1、AT-VST-VRT ファームウェア: Ver.3.11.1、VST-APL シリーズパッケ ージバージョン: Ver.3.11.1

●バージョンアップ概要

今回のバージョンアップで追加・拡張したその他の機能やサポート範囲などの詳細については、こちらよりリリ ースノートをご覧ください。https://www.allied-telesis.co.jp/support/

バージョン名: AT-Vista Manager EX Ver.3.13.1、AT-VST-VRT Ver.3.11.1、VST-APL シリーズパッケージ バージョン Ver.3.11.1

- 注) AT-Vista Manager EX Ver.3.13.1 は 3 月 4 日にリリース済み、AT-VST-VRT Ver.3.11.1、VST-APL シリーズパッケージバージョン Ver.3.11.1 は、3 月 7 日よりダウン ロードサービスを開始しております。 注)本バージョンアップで強化・拡張し機能は、対象となる製品の OS AlliedWare Plus ファームウェア Ver.5.5.4-2.x 、もしくは AT-TQ7403 ファームウェア Ver.10.0.4-
- 2.1 以降、AT·TQ6403 GEN2・AT·TQm6403 GEN2 ファームウェア Ver.9.0.4·3.1 以降、AT·TQ6702 GEN2 ファームウェア Ver.9.0.4·2.1 以降、AT·TQ6602 GEN2 ファームウェア Ver.9.0.4·2.1 以降、AT·TQm6702 GEN2・AT·TQm6602 GEN2・AT·TQm6602 GEN2 ファームウェア Ver.8.0.4·0.1 以降でご利用頂けます。
 注)記載されている商品またはサービスの名称等はアライドテレシスホールディングス株式会社、アライドテレシス株式会社およびグループ各社、ならびに第三者や各社の商
- 標または登録商標です。

〈〈製品に関するお問い合わせ〉〉 E-Mail: info@allied-telesis.co. ip

Tel: 03-5437-6042 E-Mail: pr_mktg@allied-telesis.co.jp

https://www.allied-telesis.co.jp アライドテレシス株式会社 東京都品川区西五反田 7-21-11 第 2 TOC ビル

〈〈ニュースリリースに対するお問い合わせ〉〉 マーケティングコミュニケーション部